2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[観音寺市立観音寺南小学校] 担当教諭[木谷厚子・岸本寿美代]

児童生徒の学年・クラス・参加人数:[5年 桜組 38名][5年 梅組 36名]

実施期間:2009年 9月 ~ 2010年 5月

交流:無・(有) 国名[アメリカ合衆国] 学校名[Sultana Elementary School] 学年[4年] 担当教諭[Jennifer Alvarez

Carol Fitzgerald Stacey Pechan

実施教科∙時数
アートマイルに関連した時間
すべて(総合は外国語活
動、環境など中身がわかる
よう)。必要に応じて行を追
加してください。

	教科	単元名	時数
1	総合	再発見!観音寺のすばらしさ	15
		世界の国とつながろう	10
	外国語活動	自己紹介をしよう	5

■作品について教えてください。

題(テーマ)	未来に残したいもの ~すばらしい観音寺の自然・祭り・食文化~
絵に込めたメッセージ	自分たちの住む観音寺市のすばらしさを見直し、相手の国に伝えたい伝統的なものや残した
	い自然を描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
	9月	・フォーラムを通じてお互いの学校やクラ	見えない相手を想像しながらの自己紹介カ	総合
		スの紹介をした。	一ド作りであったが,英語が使えなくても相手	
導入		・一人一人が自己紹介カードを作成し、	に自分のことがわかるようにとイラストなど工夫	
		アメリカへ送った。	を加えることができた。	
	9 月	・アメリカについて調べ、交流学校の位	相手の学校の様子や子どもたちの様子がフ	総合
	~	置や地域の様子を調べた。	ォーラムを通して分かってくるにしたがって、興	
	1月	・日本の伝統的な品物を送り、説明をフ	味・関心が高まってきたようだ。	
		オーラムで知らせた。相手校からもお菓		
		子やファイルが送られてきた。		
		・日本とアメリカの子どもたちでペアを決	相手校の子どもたちとペアを決めたことで、	
		め、フォーラムを通じて質問をしたり答え	より友達という意識がもてたようだ。ゲームが	
情報		たりした。	好きとか兄弟が二人いるとか、共通点をたくさ	
収集			ん見つけてうれしそうだった。	
松未		・自分たちの地域のすばらしさについて	自分たちの地域のすばらしさをもう一度調べ	
		グループに分かれ、調べた。	直すきっかけとなり、休みの日に海浜植物の観	
			察に通ったり、店屋にインタビューに行ったりと	
			自主的な調べ学習が広まった。	
		・お互いの留学生として縫いぐるみを交	相手校から送られてきた猫のぬいぐるみを各	
		換し合った。	家庭に連れて帰り、普段の日本の生活を写真	
			入り日記で紹介した。家庭に持ち帰ることで、	
			保護者にこの活動をアピールすることができ	

			<i>t</i> =。	
		・外国語学習で習った"I like ~."を使っ	外国語学習と関連づけることで, 子どもたち	
		て自己紹介ビデオを作成した。	は伝える相手をイメージしながら"I like ~."	
			"Do you like ~?"の学習を進めることができ	
			<i>t</i> =.	
_	10 月	・各クラスでテーマを決め、テーマや分割	今までの調べ学習から各クラスごとに伝えた	総合
テーマ	11月	の仕方をフォーラムで提案した。	いテーマを決め、グループに分かれて描きたい	
検討			内容を話し合った。	
	12 月	・各グループごとに壁画に描くデザインを	グループごとに描きたいものを絞り, 下書き	総合
		話し合い、下書きを描いた。	を全員が描いたうえで,壁画のデザインを決め	
生11/1-		・色塗りも各グループごとに分担して進	たので、それぞれのアイデアが生かされた。	
制作		めた。	自分たちのパーツは自分たちが責任をもって	
			完成させるようにしたので、全員が参加した壁	
			画制作となった。	
	5月	・全校生に完成した壁画を紹介し、全校	絵の完成は3月に間に合わなかったが、幸い	総合
你告		生が見ることができる廊下に掲示した。	両クラスの担任とも6年生に持ち上がったの	
鑑賞			で,5月に作品が届いたときも子どもたちといっ	
			しょに感動を共有することができた。	

■学習目標と成果はどうでしょうか?(「重視」には指導にあたって重視したものを1位~5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1~5で評価してください。)

(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	3	5.4.3.2.1	テレビ会議など直接的なやりとりをしていないから
	2	5.4.3.2.1	フォーラムを使ってのペアの相手からの質問に答
桂起江田纶力/加集, 整层)			えようとしたが、本校のパソコン入れ替えの時期と
情報活用能力(収集·発信)			重なり、結局個人の返事ができなかったから。(8
			割ぐらいは完成していた)
1 問題 版 ナヘノス (六 汝 切 毛 , 尚 処 力)	4	5(4)3.2.1	相手校の子どもたちとペアを作ったので意識や関
人間関係をつくる(交流相手・学級内)			心が高まった。
カロル業ナナスカ(処型、砂取目)		5(4)3.2.1	伝えたい内容ごとにグループに分かれ、全員で下
協同作業をする力(役割・段取り) 			書きのデザインを考え、色塗りをしたので。
		5.4 3.2.1	アメリカというステレオタイプの理解は通じず、地域
異文化の理解			の特性に歴史的なことが多く含まれ, 担任も十分
			な説明ができなかったので。
ウサルの理解・ウハを目のゆる	1	5-4-3-2-1	自分たちの自慢を休日等も使い、自分たちで調べ
自文化の理解・自分を見つめる			るといった態度が見られたので。
		5(4)3.2.1	積極的にアイデアを出す子どもと消極的な子ども
表現力			がおり, 消極的な子どもの意見を十分に生かすこ
			とができなかったので。
学羽去沪办士 Z 辛%	5	5(4)3.2.1	知っている英語を使ってどのようにしたら相手に伝
学習を追究する意欲			わるか、自分なりに考え表現できたから。
作品を鑑賞する力		5(4)3.2.1	絵に描かれた思いを十分に全校生に説明する前
IF叩ど蚯貝するハ			に送らなくてはいけなくなったので。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか?

成果	課題
・伝えたい自分たちの地域のすばらしさを見直し, 感じる活	・わたしの英語のカ不足で相手校の質問に適切に答えられ
動ができた。	なかったり、子どもの声をリアルタイムでフォーラムにアップ
・遠く離れていても、つながりあえることが実感できた。	することができなかった。
・習った英語が使えることが分かり, 意識して外国語活動に	・動画をフォーラムに添付しようとしたが、手法がよくわから
取り組むことができた。	ずできなかった。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか?

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
・アメリカへ壁画を送る前と完成した壁画について全校生に	・とても素晴らしい取り組みだと評価をいただいた。
実物を見せながら紹介した。	・次年度は自分たちのクラスでもしたいという問い合わせが
・教室の前の廊下に取り組みの様子を写真をたくさん使い掲	あった。
示した。	
・自由参観日に完成作品を校内に掲示し、保護者に見て頂	
いた。	

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

初めての参加でしたが、子どもたち・教師共にたくさんの感動がありました。ありがとうございました。アメリカという国がとても身近に感じることができました。フォーラムで交流という手法は、安心して個人の顔写真を載せることができ、ありがたかったです。動画を使えたら、もっとお互いを知ることができることができたのに・・と感じました。相手の問いかけに、すぐに、的確に返事を返すことができないことも多く、英語をもっと使えるようにする必要性を改めて感じました。また、完成した壁画が他の地域で展示され、子どもたちの思いがどんどん広まっていくのがうれしいです。自分たちの作品が他国で展示されている様子も知らせて頂けたらありがたいです。また塩飽様には、細かい質問や要望にも素早く分かりやすくお答え頂き、とても助かりました。本当にありがとうございました。